

◇ 動詞の「活用の種類」は、五段活用の他にもある！

前のプリント(No. 4)で、五段活用ではなかった動詞がいくつかありましたね。

それらの活用の様子を、表に入れながら見てみようφ(^o^) 空欄は自分で活用させてみてね！

来る	協力する	勉強する	見る	起きる	落ちる	流れる	食べる	
※		勉強 <small>べんきょう</small>	※		落 <small>お</small>	流 <small>なが</small>	食 <small>た</small>	語幹 <small>ごかん</small>
こ こ	★	し し ★	み み		ち ち		べ べ	未然形 ウ、ヨウ ナイ
き き		し し	み み		ち ち		べ べ	連用形 タ マス
		する	みる		ちる		べる	終止形
		する	みる		ちる		べる	連体形 トキ
		すれ	みれ		ちれ		べれ	仮定形 バ
		せし よろ	みみ よろ		ちち よろ		べよ べろ	命令形

↓
↓
↓
↓
これらは、けっこう特別な活用のしかたをしているので、呼び方も特別。
次のページで説明するよ♪

★「勉強する」「協力する」の未然形は
し(ナイ)、し(ヨウ) の他に
・せ(ズ)
・さ(セル)
という形もあるよ。

↓
「べ、べ、べる、べる、べれ、べろ(べよ)」
「け、け、ける、ける、けれ、けろ(けよ)」(←「開ける」など)
のように、すべての活用形に「え」の段が含まれる活用を
「下一段(しもいちだん)活用」といいます。
└ あいうえお で「う」を真ん中とみると、
“え”は「一段下」だよな！
だから「下一段」という呼び方になったんだ…きっと…(想像)
※本当にそうなのかどうかは、興味ある人は調べてみて!(^▽^)/

↓
ということは？この「落ちる」「起きる」「見る」のような活用は何と呼ばれるのかな？予想してみよう!(°。°) ;)

※「見る」や「来る」などの語幹(※)は、語幹があるのかないのか微妙…みたいな存在。まあ、あまり気にしないことにしよう(そうしよう)

する	拾う	捨てる	着る	切る	来る	協力する	勉強する	見る	起きる	落ちる	
※			※		※		勉強 べんきょう	※		落お	語幹 ごかん
★					こ こ	★	し し ★	み み		ち ち	ウ、ヨウ ナイ 未然形
					き き		し し	み み		ち ち	タ マス 連用形
							する	みる		ちる	終止形
							する	みる		ちる	トキ 連体形
							すれ	みれ		ちれ	バ 仮定形
							せよ しろ	みよ みろ		ちよ ちろ	命令形

↓
予想できたかな～？

「上一段活用」だよね！

「かみいちだん」ね♪

「ち、ち、ちる、ちる、ちれ、ちろ(ちよ)」

「み、み、みる、みる、みれ、みろ(みよ)」

のように、「い」の段で活用していくね(^皿^)

↓
「来る」のような活用を

「カ行変格(かぎょうへんかく)活用」(略して「カ変(かへん)」)

「勉強する」「協力する」のような活用を

「サ行変格(さぎょうへんかく)活用」(略して「サ変(さへん)」)

といいます。特別な呼び名！

しかも、「カ変」の動詞は「来る」一語だけ！

「サ変」の動詞は「する」が付く動詞だけ！ だいぶ特別なグループなので注意してね(. .)φ

📎 練習 📌 これらの動詞を活用させて、「活用の種類」を答えてみよう！丁寧にゆっくり考えてね(^o^)

◇◇ ふたばプリント ◇◇